通 e i s e i s e i

~地域と患者様に、永生会の今をお届けする~

78

2019年1月 発行



永生会の整形外科をご紹介します



南多摩病院

整形外科

骨折・手外科センター

〒193-0832 東京都八王子市散田町3-10-1 TEL. 042-663-0111(代表) FAX. 042-662-5890



津田 悦史 医師【整形外科 医長】



泉山 公 医師 【副院長 整形外科部長】



伊藤 龍登 医師



南多摩病院 整形外科は

整形外科は良質かつ安全な医療の提供を通して地域社会に貢献する ことを社会的使命と考えています。整形外科的、外傷、疾患の方に安全 で信頼していただける医療を目指しています。

多様な骨折に対応できるように医師の採用をしています。





南多摩病院は、同法人である永生病院をはじめ、永生クリニックや、 みなみ野病院と情報の共有をより強固に連携を行ってまいります。 また近隣の病院とも連携を深めており、今後も地域のために尽力して いきます。



永生病院

整形外科

関節センター・脊椎センター

〒193-0942 東京都八王子市椚田町583-15 TEL. 042-661-4108(代表) FAX. 042-661-1331



今村 安秀 医師 【整形外科顧問】



久保村 達也 医師



鶴田 尚志 医師 【脊椎センター長】



山崎 浩司 医師



鈴木 貴士 医師



及川 久之 医師 【関節センター長】

関節センター

永生病院 整形外科では、平成25年から、関節センターをたちあげました。関節センターの 特長は、できる限り、身体に負担や傷は少ない、最少侵襲手術や低侵襲手術を行っています。

- ●従来の手術にくらべ小さい傷口で、筋肉や腱の切離を行わず(人工股関節手術では前外側進 入法を利用)、抜糸のいらない縫合を行います。その結果、術後疼痛の軽減、早期リハビリが 可能となり入院期間が短縮されます。
- ●永生病院には回復期リハビリテーション病棟が併設されています。通常、術後2-3週間で退院 を目指しますが、退院に自信のない方や、じっくりリハビリを行いたい方は、担当医はそのまま で、回復期リハビリテーション病棟等に移動いただき、回復の度合いを見ながら、個別にじっく りリハビリを行うことも可能です。
 - もちろん、リハビリテーションは個別担当制で手術前から退院まで、専門の理学療法士が治療 にあたります。
- ●主な疾患は変形性股関節症、変形性膝関節症、関節リウマチなどです。永生クリニックでは関節 専門の外来も行っております。股関節、ひざ関節などでお悩みの方はぜひ一度、ご相談ください。





日野市民会館での健康講座の様子

せきつい 脊椎センター

平成30年4月より、永生病院では脊椎脊髄外科指導医(背骨ドクター)の入職に伴い脊椎センターを開設いたしました。脊椎 とは頸椎、胸椎、腰椎からなる首から腰までの背骨のことです。脊椎の体での役割は大きく分けて2つあります。1つは人間の日 常生活(歩行、起立)において体の軸を支える屋台骨の働きと、2つめは脳からの指令を全身に伝える神経の通り道という重大 な働きを担っています。この大きな2つの働きが様々な原因によって障害されてきます。屋台骨の病気としては、背骨の骨折(圧 迫骨折)や、ずれ、クッションの役割を担う椎間板の変性に伴い起こる障害で、変形性脊椎症やさらに症状が進行した脊椎後側 弯症(腰曲がり)があります。腰曲がりまで進行すると腰が痛くて10分と立っていられない、慢性的に胸やけがする、立ち姿が 悪いといった症状を引き起こします。つぎに神経の通り道(脊柱管)が狭くなる事によっておこる病気としては、脊柱管狭窄症が あります。狭窄症の原因の多くは、加齢に伴い脊柱管を構成する靭帯が厚くなったり、骨のとげが出来たり、椎間板のクッション がすり減る事によって起こります。主な症状はお尻からふくらはぎの痛み、しびれが多く、前かがみで休憩すると症状が和らぐ (間欠性跛行) というのが特徴的です。

私達はこの様な病気に対して、体の負担を軽減する最小侵襲手術(経皮的椎体形成術;BKP、側方侵入椎体間固定術; XLIF) から、ひと昔前まで不治の病とされてきた腰曲がりにも脊椎矯正固定術まで、患者さん一人一人の症状に合わせた最善の 治療を行っております。腰痛、手足のしびれでお悩みの事がありましたら、我慢せずにご相談ください。







みなみ野病院は、地域の皆様と つくりあげていく、「は一とふる」 な病院にしたいと考えています。



みなみ野病院の主な機能

- ☆ 集中的なリハビリテーション
- ☆ 急性期治療後の中・長期的な医療
- ☆ がんなどからの苦痛を和らげる緩和ケア
- ☆ 通所リハビリテーション











西日本豪雨災害への医療救護活動の支援をしました

平成30年6月末から7月8日まで発生した記録的な豪雨は、土砂災害や浸水などの甚大な被害が発生しました。あとには平成最悪と報道されるほど広域な範囲で被害が拡大しました。

南多摩病院医療チームは全日本病院協会AMAT本部長からの派遣要請を受けて、7月8日、第一次派遣隊として朽方規喜医師をリーダーに4名体制のもと、病院救急車で陸路、現地に入り、続いて、7月11日には第二次派遣隊として、3名の追加派遣を行い、15日まで災害医療救護活動を実施しました。また、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会のJapan Rehabilitation Assistance Team (JRAT) の一員として、南多摩病院のリハビリスタッフ1名が、7月19日から5日間に亘り、現地災害対策本部のロジスティクス要員として活動を行いました。

現地では、KuraDRO (クラドロ) Kurashiki Disaster Recovery Organization (倉敷地域災害保険復興連絡会議) が結成され、南多摩病院チームもその一員として、他のチームとも連携しながら活動しました。

活動内容は、避難所における医療ニーズの調査、避難所アセスメント、避難所診療、 当院救急車での患者搬送、後方支援活動などです。











南多摩病院チームは、八王子市医師会の在宅療養救急搬送支援事業として、日常的に病院救急車を運用しており、日々の経験が今回の災害現場においてもスムーズな患者搬送につながったと、報告会でも発表がありました。

今年は、西日本豪雨だけでなく、大阪 北部地震、北海道胆振東部地震など、各 地で災害が発生しています。亡くなられた 方々にご冥福をお祈りするとともに、負傷 された方々、いまだ、不自由な生活を強 いられている方々も1日でも早い復興をね がっております。

私たち永生会では、このような活動を 通じ、今後の災害医療や通常業務などに も生かして参りたいと思います。

AMATとは・・・

All Japan Hospital Medical Assistance Team の略称であり、「災害の(急性期~)亜急性期において、災害医療活動の研修を受け、災害時要援護者※1にも配慮した医療救護活動を行なえる医療チーム」として、「防ぎえる災害関連死※2」を無くすことを主目的として活動する、全日本病院医療支援班のことを指します。

東日本大震災においては、被災した民間病院に対する支援は十分に行き届かなかったことから、民間病院の連携を強固にするべく、当協会では災害医療支援活動体制の見直しを図ってまいりました。その一つとして従来からあった医療チームを、公益社団法人全日本病院医療支援班「AMAT」と定めたほか、

当協会の各支部に「災害時医療支援活動指定病院」を指定するなど、会員病院間の連携を強固にし、会員病院を始めとする 民間病院や災害時要援護者に対する十分な支援、避難所の巡回診療、患者の病院間搬送、多様な医療チーム等との連携を 含めた災害医療活動の知識・技能を習熟したチームとして、 DMATに準ずる医療チームの養成を目指しております。

※1 災害時要援護者;小児、妊産婦、高齢者、有基礎疾患者、 障がい者、外国人、旅行者、要介護者等を指すものとする

※2 災害関連死; (狭義には) 災害による直接的な被害ではな く、その後の避難での環境等による体調悪化など間接的な 原因で死亡すること(全日本病院協会サイトより引用)

老人保健施設 各施設



8月から9月にかけて毎年

永生会の老人保健施設では、各施設でそれぞれのお祭りがあります。

利用者のみなさんに少しでも楽しんでいただけるよう、スタッフがそれぞれ工夫をこらした出し物や、

模擬店などを開店しています。夏祭りの雰囲気を出そうと装飾も本格的です。

各施設とも大勢のご家族のみなさまにご来館いただき楽しんでいただけました。

これからも、利用者の方々に少しでも楽しい1日をお過ごしいただけるよう、

また、なるべくご自宅でくらしていけるよう、スタッフ一同尽力してまいります。





9月9日 オネスティカーニバル 【オネスティ南町田】



力強い南町田太鼓



スタッフでもあるパパス源太 今日も歌います



スタッフのソーラン節と 南町田太鼓のコラボ



毎年恒例 大人気ラーメン キザミ食にも対応しています



8月23日 イマジン納涼祭 【イマジン】



アの大鼓さんのちから強い太豆





宝行委員のスタッフ



9月23日 マイウェイ フェスタ (マイウェイ四谷)



利用者さんも一緒に歌います



医療・介護を通じた街づくり・人づくり・想い出づくり

永生病院〒193-0942東京都八王子市椚田町 583-15TEL.042-661-4108南多摩病院〒193-0832東京都八王子市散田町 3-10-1TEL.042-663-0111みなみ野病院〒193-0916東京都八王子市みなみ野 5-30-3TEL.042-632-8118永生クリニック〒193-0942東京都八王子市椚田町 588-17TEL.042-661-7780クリニック0(ゼロ)〒193-0943東京都八王子市寺田 490TEL.042-666-1556

●グループホーム -

寿限無 〒193-0942 東京都八王子市椚田町 590-4 TEL.042-662-6500

●介護老人保健施設 -

イマジン〒193-0942東京都八王子市椚田町 583-15TEL.042-662-7000マイウェイ四谷〒160-0015東京都新宿区大京 1-3TEL.03-3355-0428オネスティ南町田〒194-0004東京都町田市鶴間 7-3-3TEL.042-788-0373

●訪問看護ステーション –

めだか	₸193-0942	東京都八王子市椚田町 513-13-1F	TEL.042-661-5080
とんぼ	₹193-0914	東京都八王子市片倉町 440-2	TEL.042-632-6351
ひばり	₸193-0835	東京都八王子市千人町 2-13-8 1F	TEL.042-649-6917
いるか	₸193-0364	東京都八王子市南大沢 1-18-11-A103	TEL.042-659-2213
□笛	₸194-0004	東京都町田市鶴間 7-3-3	TEL.042-706-8810



●居宅介護支援事業所 -

ケアプランセンター えいせい 〒193-0942 東京都八王子市椚田町 583-15 **TEL.042-662-7020 居宅介護支援事業所 片倉** 〒193-0914 東京都八王子市片倉町 440-2 **TEL.042-632-6335** ケアプランセンターであの 〒194-0004 東京都町田市鶴間 7-3-3 **TEL.042-706-8808**

●八王子市高齢者あんしん相談センター

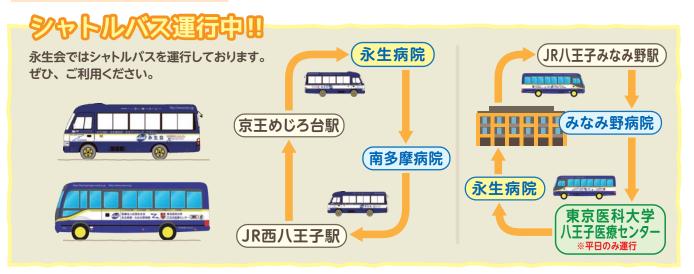
八王子市高齢者あんしん相談センター片倉〒193-0914 東京都八王子市片倉町 440-2TEL.042-632-6331八王子市高齢者あんしん相談センター寺田〒193-0943 東京都八王子市寺田町 137-1TEL.042-673-6425

●病児保育室

<mark>はる</mark> 〒193-0832 東京都八王子市散田町 3-8-10 **TEL.042-663-0111(南多摩病院 代表)** アーデルKSハイム1F

●永生会協力会社

在宅総合支援サービス(有) 十字会ケアステーション 〒193-0832 東京都八王子市めじろ台 1-9-1 TEL.0120-537-0800





永生会コールセンター

100 0120-001-083

永生会

検索